

《1月の番組ガイド》

鳥取市行政番組
「こんにちは、鳥取市です」【放送】毎週金・土

鳥取市の施策や事業の
取り組み状況、各種行事、
お知らせを紹介します。

【今月の特集】

- ・小規模校特別転入制度
- ・総合計画の取り組みについて
- ・元気です!! 『神馬(かんば)笠踊り保存会』



東郷小学校

【放送時間】

- ① 6:30 ② 7:30 ③ 8:30 ④ 9:30 ⑤ 10:30
⑥ 11:30 ⑦ 12:30 ⑧ 13:30 ⑨ 17:30 ⑩ 18:30
⑪ 20:30 ⑫ 21:30 ⑬ 22:30

※『いなばアグリタイム』『とっとりウォーキング』も同様です。
番組終了後は文字画面を放送しています。

※現在、平成18年4月のサービス開始に向けて、鳥取市全域
のCATV網の整備が進められています。

農業番組

『いなばアグリタイム』【放送】毎週火・木

農作物の栽培技術情報や旬の話題、農業関連行事・
イベントなどを紹介します。

自主制作番組

『とっとりウォーキング』【放送】毎週水

地域の話題や住民のみなさんの活動、祭や伝統行
事をご紹介します。

手話番組

『手話でコミュニケーション』【放送】毎週金・土

鳥取市の各種行事やお知らせを手話で紹介しま
す。また、手軽な手話講座「やさしい手話」をお送
りしています。

鳥取市水道局広報番組

名実ともに「安心な水のみなもと千代川」をめざして
【放送】毎月第4金・土

水道のしくみや水道局からのお知らせをご案内します。

情報をお寄せください。

いなばぴよんぴよんネット ☎ 0857-22-6111

※放送予定は予告なく変更することがあります。

また、番組はホームページでも紹介し
ています。

<http://www.inabapyonpyon.net>



『夢フェスタとっとり』に出演したメンバーのみなさん

この手笠は花びらの一枚々々
までもが会員の手作り。歌い手
の森下光孝さん(54歳)は「自
分たちで和紙
を選び、花び
らの細かいす
じにもこだわ
って作ってい
ます。これも
先輩たちから
引き継いだ伝
統」とおっし
やいます。み
なさんの村を
自分たちの手
で元気にしよ

うという熱い思いは、こんなと
ころにもあるようです。
みなさん
一緒に踊りませんか
練習は、7月からお盆前まで
は毎日。それ以外にも、イベン
ト前になると毎日行っていま
す。メンバーの職業は、農業、
会社員、公務員とさまざまです
が、仕事を終え夜になると、神
馬ふれあいセンターには明かり
が灯ります。「子どものころか
ら親が踊るのを見て育っていま
すから、体の一部みたいなもの

です。自然と体が『ふれあい
センター』に向いてしまします。
家族も当たり前のように毎日、
送り出してくれますね」と森下
さん。
メンバーの活動は、平成15年、
山形県で開催された国民文化祭
へ出演したことをきっかけに、
県外へも広がりました。モット
ーは、出演の声がかかったらど
こへでも出かけていくこと。昨
年の11月には台湾へも公演に。
ただ、活動が活発になっていく
一方で、悩みの種は後継者不足。
「保存会には定年はありません。
永久就職ですので、みなさんい

っしょに踊りましょう」と市全
域へ会員を募っていらっしやい
ます。
現在は、今年、愛知県で開催
される『愛・地球博』参加へ向
けて練習に熱が入ってしまし
た。今後の活動について代表の
長谷さんへお聞きすると、「村
を元気にしながら、自分たちが
引き継いできたものを後世へ伝
えていくこと」ときっぱり。神
馬ふれあいセンターには、今日
も笠の鈴の音と歌い声が響いて
います。

子どもから大人までの
総意による村づくり
河原町のお城山展望台から
8キロほど山あいに入った所
に、棚田の美しい『神馬(か
んば)』という集落があります。
この地名の由来は、夜のお堂で
白馬がいなく故事に由来する
「神馬(しんば)の角」伝説か
らきているとのこと。標高
は、霊石山とほぼ同じ300メ
ートル。世帯数32、人口108
人、高齢化率38パーセントと過
疎化が進んでいますが、「子ど

もたちのにぎやかな笑い声が聞
こえる村に、「住民のふれあい
と思いやりを大切にしたい村おこ
しを」という声が高まり、子ど
もから大人までの総意によって
村づくりが始められたのが平成
12年。そのなかで、集落と一体
となって元気に活動されている
「神馬笠踊り保存会(長谷政信
会長他8人)」をご紹介します。

から約300年の歴史がありま
す。その頃はお盆の楽しみとし
て始まった盆踊りで、笠を使わ
ない手踊りだったとのこと。大
正時代に雨乞い踊りとなり、戦
時中の一時中断の後、戦後に現
在の手笠踊りとして復活。本来
はもともと、初盆の家を回り先
祖供養のために踊られている伝
統芸能でしたが、最近では、村
を元気にしようと、各種イベン
トや行事に積極的に参加し盛ん
に踊られています。
メンバーは20代から50代まで
の男性ばかり9人。竹で編み上

げた笠に和紙で作った花を装飾
した円形の手笠を、巧みに円形
運動をさせながら全身で踊りま
す。男性で踊る手笠踊りは全国
的にも珍しく、息のぴったり合
った勇壮な踊りは見る人を惹
きつけます。また、「もともと
が雨乞いの踊りだったため、イ
ベントには雨が降ることもしば
しばです」と苦笑いの長谷代表
(48歳)。
熱い思いは
花びらの一枚にも

シリーズ

元気です

34

合い言葉は
「村を元気にしよう」



左 森下光孝さん Mitutaka Morishita
右 長谷政信さん Masanobu Nagatani

かんば
神馬笠踊り保存会

